

児童朝会 講話 令和4年 2月21日

№29 「ゆめ」

おはようございます。

校長先生の声は、みなさんの心に届いていますか？

先生の住んでいるところでは、昨日の晩からすごい雪が降りました。敷津の街に来ると全然雪がなくてびっくりしましたが、とても寒いので風邪など引かないように注意してすごしてください。

また、先週金曜日の校内研究授業会ではどの学年も大変よくがんばっていましたね。東京大学の佐藤学先生も敷津の子どもたちのがんばりをほめておられましたよ。

今日は夢について学び合っていきたいと思います。みなさんは、夢は知っていますよね。2つ意味があります。一つは夜に見る夢。もう一つは自分の将来を考える夢。今日は自分の将来の夢についてのお話しです。

ところで、みなさんは、髪が伸びてきたらどうしますか。散髪屋さんか美容院に行って髪を切れますね。中にはおうちの人にしてもらう人もいるかもしれません。

この散髪、美容の髪を切るテクニックを競う全日本理美容大会というのがありますし、毎年大勢の散髪屋さん、美容師さんが自分の技術こそ日本一だと競い合います。そこで優勝すると、今度は世界大会がありまして、世界中の散髪屋さん美容師さんを相手に戦い世界一を目指します。その世界大会で、なんと世界一になった散髪屋さんが日本におられます。田中トシオさんという東京新宿の散髪屋さんです。

しかもこの田中さん、髪を切るテクニックだけでなく、ヘアスタイル大会、レーザーカット大会、ヘアファッショングランプリ大会と1992年に行われた全ての大会で優勝されたのです。

この4つの散髪屋さん大会の全てで優勝することをグランドスラムと言うのですが、30年たった今でも田中さん以外でだれもこのグランドスラムができた人はいないのです。

オリンピックで例えましたら、スキーでも優勝、スケートでも優勝全部の種目で優勝したというとんでもない記録なのです。

で、その田中さん、散髪という大変難しい技術をもっているので、子ども時代からさぞ手先の器用な人だったのかというと、そうではなくあだなが「手ぼっこ」「チョロすけ」ととても不器用で集中力のない子どもだったそうです。そんな田中さんが散髪屋さんになるのですが、当然初めの頃は不器用だったので、めちゃくちゃなカットになっていたそうです。

少しでもお客様にほめてもらえるよう、毎日毎日努力を重ね、散髪屋さん日本一をめざします。しかし、あらゆる大会で負け続け、なんと37歳で日本一になるまでに100敗ぐらいしたそうです。

さあ、そうなると次は世界大会です。そこでも絶対優勝してみるぞと、田中さんはお店をやめてひとりで部屋にこもって1日10時間の修行を一日も休まず2年間続けたそうです。そして、2年満を持して世界大会に出場。なんと全ての大会で優勝するグランドスラムを世界ではじめて成し遂げたのです。

よく20年近くも負け続けてあきらめずに、日本一、世界一になる夢を諦めずにがんばったと思うのですが、そんな田中さんが大切にしている言葉があります。それは「夢は逃げない、自分が夢から逃げるだけ。」というものです。

みなさんの心に届きましたか？まさにその通りですね。よし、毎朝早起きして勉強がんばるぞ！と思っても、怠けてしまうのも自分。将来シェフになりたいから、毎日お料理の手伝いすると決めてても、途中でやめてしまうのも自分。野球選手になるために、毎日素振り100回

するぞと決めても、3日目にやめてしまうのも自分。

逆に言うと、実は夢って案外かなうものなのです。そこから逃げなければ。自分の将来の夢をしつかり持って、そこから逃げなければ絶対にかなうということを、このこの田中さんは教えてくれています。将来ユーチューバーになりたい、漫画家になりたい、芸能人、ゲーム解説者、パティシエなどなど皆さんが心に描いている将来の夢、そこから逃げなければ絶対にかないますよ。

皆さんは、どんな将来の夢がありますか？よかつたら、校長室前のボードにつぶやいてみてください。

これで校長先生のお話しを終わります。最後まで静かに聞いていただき、ありがとうございました。